

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <https://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 佐々木 卓 (TEL) 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,427,856	7.2	15,998	56.4	17,280	50.4	11,850	69.3
2023年3月期第2四半期	1,332,419	3.4	10,227	12.2	11,488	4.9	7,001	0.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 17,317百万円(11.3%) 2023年3月期第2四半期 15,558百万円(103.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	60	29	—	—
2023年3月期第2四半期	34	60	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,426,216	—	465,552	—	32.6	—
2023年3月期	1,339,852	—	488,335	—	36.4	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 465,269百万円 2023年3月期 488,090百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00	—
2024年3月期	—	34.00	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	69.00	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2024年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が5円含まれております。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,860,000	6.1	36,000	19.4	38,000	15.7	24,900	△3.4	129	87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	202,840,000株	2023年3月期	202,840,000株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	15,565,583株	2023年3月期	471,650株
------------	-------------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	196,576,533株	2023年3月期2Q	202,369,248株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、2022年5月に公表した「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～(以下「22-24中計」という。)」に掲げた以下のグループ経営方針に取り組んでおります。

- ・『事業モデルの強化』と『新たな価値の創造』
- ・『グループ一体となった取り組み』による地域の健康・医療への貢献
- ・『環境保全への取り組み等』を通じたサステナブル社会への貢献
- ・『ダイバーシティ』を中心とした人財戦略の推進
- ・『コンプライアンスの遵守』を最重要とする企業風土の醸成

当社は、グループ一体となって事業モデルの強化と新たな価値の創造およびコンプライアンス徹底の体制強化を図るため、2023年4月1日付の機構改革において、グループ医療卸事業統括部、トータルサプライチェーンサービス企画推進部、再生医療事業企画開発室、流通コンプライアンス室を新設するなどの組織再編を行いました。

さらに、当社はグループのさらなる企業価値向上を実現すべく、2023年5月、2032年度までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を公表するとともに、資本効率の改善と株主還元の実現を図るため350億円を上限とする自己株式取得を決議し、同年10月2日をもって、15,201千株を取得し終了いたしました。

「新たな価値の創造」への取り組みとして、当社は、2023年5月、抗体医薬を主体とした研究開発を行う株式会社凍研究所(本社：東京都中央区)に対し第三者割当増資による出資をいたしました。同社が進める抗体医薬の開発を支援していくとともに、トータルサプライチェーンサービスの実現に向けて医薬品等製造事業における開発パイプラインと製造技術を強化してまいります。

また、組織再編により当社の完全子会社となったセルリソーシズ株式会社(本社：東京都千代田区)は、2023年7月、Miltenyi Biotec B.V. & Co. KG(本社：ドイツ連邦共和国)との間で、遺伝子細胞治療市場における自動細胞製造施設・工程の設計、建設、稼働のサポートを目的とするバイオインダストリー・サポート契約を締結いたしました。当社グループでは、本契約を契機として遺伝子細胞治療市場に対して高度に自動化された受託細胞製造サービスを提供する事業基盤の整備を進め、再生医療等製品の受託製造サービスを提供する体制の構築を進めております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1兆4,278億56百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益159億98百万円(同56.4%増)、経常利益172億80百万円(同50.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益118億50百万円(同69.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ① 医療用医薬品等卸売事業

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5月から「5類感染症」に移行されましたが、再拡大の様相を呈しました。このようななか、当社グループでは、生命関連商品を取り扱う社会インフラとしての使命を果たすべく、医薬品等の安定供給はもとより、新型コロナウイルスワクチンおよび治療薬の配送業務ならびに欠品や需給調整が続くジェネリック医薬品への対応に尽力しております。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、スペシャリティ領域ならびにメディカル品への取り組み強化とDXによる事業変革を通じて、「22-24中計」の重点施策として掲げた「既存事業の強化」「事業変革による収益化」「グループ全体での最適化・効率化・標準化」を推進しております。

当社グループでは、新たな医療サービスの開発に挑戦する様々なベンチャー企業との提携により、医療分野における課題解決への取り組みを進めております。

連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区)は、株式会社MICIN(本社：東京都千代田区)との間で資本業務提携契約を締結し、オンライン診療サービス「curon(クロン)」や通院専用のキャッシュレス決済サービス「クロンスマートパス」等の普及拡大を推進するとともに、両社の経営資源を活用し、生活者の健康向上や医療アクセスの充実につなげるなど、医療・ヘルスケアサービスの開発および展開を図っております。

また、アルフレッサ株式会社は、2023年5月、キッズウェル・バイオ株式会社(本社：東京都中央区)および三菱倉庫株式会社(本社：東京都中央区)との間で、キッズウェル・バイオ株式会社が生体医療等製品として開発中のヒト乳歯歯髄幹細胞の高品質かつ安定的な保管・輸送体制の構築に関する業務委託基本契約を3社間で締結し、再生医療分野においても医薬品の安定供給を担うべく、ヒト乳歯歯髄幹細胞を原料とする再生医療等製品の実用化に向けた協業を進めてまいります。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、2023年4月に実施された薬価の中間年改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬をはじめとする市場の伸長および一部製薬企業の流通体制変更ならびに販管費率の低減に取り組んだこと等により、売上高1兆2,671億88百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益137億96百万円(同72.6%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高89億19百万円(同7.0%増)を含んでおります。

## ② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、既存領域の高収益化と成長領域への挑戦を推進し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「高収益化への取り組み」「グループ連携強化」「事業変革による収益力強化」を推進しております。なかでも、物価高騰による仕入原価上昇への対応、調剤薬局販路開拓をはじめとするニューチャネル創造に取り組んでまいりました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後の都市部における人流回復に加えて、訪日外国人増加によるインバウンド需要増に伴う市場回復の影響から増収となったこと等により、売上高1,333億50百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益14億66百万円(同26.6%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高2億75百万円(同9.9%減)を含んでおります。

## ③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、「次代の基盤創り」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくり」「トータルサプライチェーンサービスの実現に向けた取り組み」「デジタルを活用した新たな取り組み」を推進しております。

2023年4月、連結子会社のアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市中央区)は、連結子会社であったサンノバ株式会社(本社：群馬県太田市)を合併いたしました。本合併により新たな価値の創造を通じて顧客満足を追求し、当社グループが掲げる「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム<sup>®</sup>」の実現に貢献いたします。

また、アルフレッサ ファーマ株式会社は、2023年3月に株式会社ケイファーマ(本社：東京都港区)との間で締結した、筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬としてのロピニロール塩酸塩の国内開発権・製造販売権許諾契約に基づく開発に引き続き取り組んでおります。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、製造販売権を承継した長期収載品の売上伸長および新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原迅速検査キット「アルソニック<sup>®</sup> COVID-19 Ag」をはじめとする診断薬の底堅い需要ならびに受託製造および原薬製造が堅調であったことによる増収の一方で、ALS治療薬開発に係る契約一時金支出等の経費増の影響により、売上高260億15百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益1億86百万円(同77.9%減)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高76億87百万円(同16.5%増)を含んでおります。

## ④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、予防からターミナルケアまでライフジャーニーにおけるすべてのステージに対応する「かかりつけ薬局」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「在宅医療への取り組みによる事業の成長」「DXによる事業変革」「未病予防への取り組み」を推進しております。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、薬価改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬等の影響による増収および経費抑制等により、売上高181億83百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益2億79百万円(前年同期は営業損失14百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して863億63百万円増加し、1兆4,262億16百万円となりました。

流動資産は、735億84百万円増加し、1兆1,081億11百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」が260億42百万円増加および「受取手形及び売掛金」が449億37百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、127億79百万円増加し、3,181億4百万円となりました。これは主として、物流センター等の設備投資などに伴い有形固定資産が20億34百万円増加および保有株式の時価上昇等に伴い「投資有価証券」が106億17百万円増加したことによるものであります。

## ② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して1,091億46百万円増加し、9,606億63百万円となりました。

流動負債は、1,075億68百万円増加し、9,333億円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が919億33百万円増加および「短期借入金」が120億円増加したことによるものであります。

固定負債は、15億78百万円増加し、273億63百万円となりました。これは主として、保有株式の時価上昇等に伴い繰延税金負債等の「その他」が18億89百万円増加した一方で、「退職給付に係る負債」が4億67百万円減少したことによるものであります。

## ③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して227億82百万円減少し、4,655億52百万円となりました。これは主として、「利益剰余金」が64億93百万円増加および保有株式の時価上昇等に伴い「その他有価証券評価差額金」が55億83百万円増加した一方で、株主還元の一環として自己株式を取得したこと等に伴い「自己株式」が347億43百万円増加したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、260億29百万円増加(前年同期は109億28百万円の減少)し、1,848億5百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、前第2四半期連結累計期間と比較して以下のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は631億12百万円(前年同期は106億97百万円の増加)となりました。これは主として、「税金等調整前四半期純利益」173億56百万円および「減価償却費」64億18百万円の計上ならびに運転資本の増減等によるものであります。なお、営業活動におけるキャッシュ・イン・フローは前年同期と比較して524億14百万円増加しておりますが、これは主として、税金等調整前四半期純利益の増加および運転資本増減の影響等によるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は86億93百万円(前年同期は153億26百万円の減少)となりました。これは主として、物流センター建設等の物流設備投資および製造事業強化のための製造設備投資を中心とした「有形固定資産の取得による支出」60億83百万円ならびにベンチャー企業への出資等の「投資有価証券の取得による支出」26億36百万円があったこと等によるものであります。なお、投資活動におけるキャッシュ・アウト・フローは前年同期と比較して66億33百万円減少しておりますが、これは主として、有形固定資産の取得支出が減少したことによるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は294億67百万円(前年同期は63億85百万円の減少)となりました。これは主として、剰余金の配当を実施したこと、株主還元の一環として自己株式を取得したことおよび短期借入金が増加したこと等によるものであります。なお、財務活動におけるキャッシュ・アウト・フローは前年同期と比較して230億81百万円増加しておりますが、これは主として、自己株式の取得による支出が増加および短期借入金が増加したことによるものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	160,122	186,165
受取手形及び売掛金	623,654	668,591
商品及び製品	145,349	144,044
仕掛品	1,469	1,844
原材料及び貯蔵品	5,972	7,036
その他	98,379	100,857
貸倒引当金	△419	△428
流動資産合計	1,034,527	1,108,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,702	76,521
土地	72,127	71,794
その他（純額）	40,992	30,539
有形固定資産合計	176,821	178,855
無形固定資産		
のれん	2,545	2,315
その他	15,314	14,481
無形固定資産合計	17,860	16,796
投資その他の資産		
投資有価証券	91,555	102,173
その他	24,120	25,167
貸倒引当金	△5,033	△4,888
投資その他の資産合計	110,643	122,451
固定資産合計	305,325	318,104
資産合計	1,339,852	1,426,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	780,343	872,276
短期借入金	-	12,000
未払法人税等	6,046	8,318
賞与引当金	7,210	6,603
役員賞与引当金	384	194
独占禁止法関連損失引当金	4,937	4,937
その他	26,810	28,969
流動負債合計	825,732	933,300
固定負債		
株式給付引当金	73	138
役員株式給付引当金	90	181
退職給付に係る負債	8,363	7,896
その他	17,257	19,147
固定負債合計	25,784	27,363
負債合計	851,517	960,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	57,720	57,720
利益剰余金	366,649	373,143
自己株式	△686	△35,430
株主資本合計	442,137	413,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,135	52,718
繰延ヘッジ損益	△0	-
土地再評価差額金	△3,346	△3,346
為替換算調整勘定	269	333
退職給付に係る調整累計額	1,895	1,677
その他の包括利益累計額合計	45,953	51,382
非支配株主持分	244	283
純資産合計	488,335	465,552
負債純資産合計	1,339,852	1,426,216

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,332,419	1,427,856
売上原価	1,241,379	1,328,630
売上総利益	91,039	99,226
販売費及び一般管理費	80,812	83,228
営業利益	10,227	15,998
営業外収益		
受取利息	30	29
受取配当金	825	778
不動産賃貸料	297	270
その他	330	484
営業外収益合計	1,483	1,561
営業外費用		
支払利息	34	35
支払手数料	-	69
不動産賃貸費用	93	89
その他	95	85
営業外費用合計	222	280
経常利益	11,488	17,280
特別利益		
固定資産売却益	104	185
投資有価証券売却益	237	-
特別利益合計	341	185
特別損失		
固定資産売却損	15	19
固定資産除却損	37	74
減損損失	1	4
投資有価証券評価損	695	11
その他	5	-
特別損失合計	755	109
税金等調整前四半期純利益	11,074	17,356
法人税、住民税及び事業税	8,035	7,630
法人税等調整額	△4,005	△2,163
法人税等合計	4,029	5,466
四半期純利益	7,045	11,889
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,001	11,850
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	38

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,641	5,583
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	150	63
退職給付に係る調整額	△278	△218
その他の包括利益合計	8,512	5,428
四半期包括利益	15,558	17,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,514	17,279
非支配株主に係る四半期包括利益	43	38

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,074	17,356
減価償却費	6,345	6,418
減損損失	1	4
のれん償却額	252	248
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	871	△136
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△559	△1,027
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△212	△196
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△419	△542
受取利息及び受取配当金	△855	△807
支払利息	34	35
固定資産売却損益 (△は益)	△88	△165
固定資産除却損	37	74
投資有価証券売却損益 (△は益)	△232	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	695	11
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,392	△43,276
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,412	△132
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,242	91,933
その他	△5,636	△2,367
小計	19,571	67,428
利息及び配当金の受取額	858	808
利息の支払額	△33	△34
法人税等の支払額	△9,699	△5,089
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,697	63,112

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△406	△406
定期預金の払戻による収入	404	405
有形固定資産の取得による支出	△12,751	△6,083
有形固定資産の売却による収入	182	805
無形固定資産の取得による支出	△1,385	△1,024
長期前払費用の取得による支出	△33	△227
投資有価証券の取得による支出	△1,609	△2,636
投資有価証券の売却による収入	741	605
貸付けによる支出	△705	△546
貸付金の回収による収入	268	479
その他	△30	△64
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△15,326</b>	<b>△8,693</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	12,000
長期借入金の返済による支出	△28	-
リース債務の返済による支出	△888	△836
自己株式の取得による支出	△1	△34,757
自己株式の売却による収入	0	-
配当金の支払額	△5,468	△5,873
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,385</b>	<b>△29,467</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	86	41
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△10,928</b>	<b>24,993</b>
現金及び現金同等物の期首残高	179,108	158,776
<b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>-</b>	<b>1,036</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	168,180	184,805

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、会社法第459条第1項および当社定款第46条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。主にこのことにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が34,743百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は35,430百万円となっております。

(セグメント情報)

## 1. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメデ ィケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,173,756	123,764	17,018	17,879	1,332,419	—	1,332,419
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,338	305	6,597	—	15,240	△15,240	—
計	1,182,094	124,070	23,616	17,879	1,347,660	△15,240	1,332,419
セグメント利益又は損失(△)	7,994	1,158	842	△14	9,981	245	10,227

(注1) セグメント利益の調整額245百万円には、セグメント間取引消去23百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用222百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメデ ィケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,258,269	133,075	18,327	18,183	1,427,856	—	1,427,856
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,919	275	7,687	—	16,882	△16,882	—
計	1,267,188	133,350	26,015	18,183	1,444,739	△16,882	1,427,856
セグメント利益又は損失(△)	13,796	1,466	186	279	15,729	269	15,998

(注1) セグメント利益の調整額269百万円には、セグメント間取引消去142百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用126百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。